



西シドニー大学  
Western Sydney University (WSU)

留学報告書

高知工科大学  
マネジメント学部4年  
鳥山貴生

私は2015年5月から2016年7月までの約1年間、オーストラリア・西シドニー大学に交換留学しました。2016年5月から7月までの10週間は語学学校に通い、その後、交換留学生として授業を履修しました。今回の留学の目的は英語力の向上、グローバル的な視野の拡大、西シドニー大学で単位を取得することでした。



## 留学準備

オーストラリアの大学では1年生の時から専門性の高いことを学ぶため、留学に出席する為に必要な英語のテストのスコアが非常に高く、西シドニー大学でも TOEFL 90 点が申し込み時に求められます。この点数が取れない場合は語学学校に通う必要があるため、この期間を考慮して留学準備をする必要があります。私も TOEFL の点数が10点足りず、語学学校に10週間行かなければならなくなっていました。また当時はオーストラリアの学生ビザを取得する為に健康診断を指定の病院で受ける必要があり、ビザの取得にもかなりの時間がかかりました。

## オーストラリアでの生活

オーストラリアは日本と同様に四季があり、比較的住みやすい環境です。しかし、物価は日本に比べると高く、賢く節約しながら生活する必要がありました。オーストラリア滞在中は大学の寮に住んでいました。寮の部屋は6人のシェアハウスで、キッチンとバスルームは共用でオーストラリア人や中国人やカンボジア人の学生と同じアパートに住んでいました。寮費は日本に比べると非常に高く6人のシェアハウスで1ヶ月約8万円でした。寮では定期的に BBQ や Movie night などのイベントがあり、新しい友達を作るには良い機会がたくさんありました。

<国際交流部主催の留学生歓迎イベントでボンダイビーチに行きました。>



## 西シドニー大学での授業

西シドニー大学では交換留学生は授業を最大4つ履修することができます。授業は15週間で行われ16週目には期末テストがありました。授業は基本的に座って教授の話を聞くだけのLecture（60～120分）と少人数で他の学生とディスカッションや、プレゼンテーションをするTutorial（60～120分）に分かれていました。授業は専門性が非常に高く、初めの頃はついていくことに必死でしたが、しっかり予習や復習をすることで徐々に慣れていきました。また課題として本や論文を読んでEssayを書くことが多く、非常に大変でした。

### <Lectureの様子>



## 留学を終えて

西シドニー大学に約1年間留学したことは素晴らしい経験でした。学校生活や寮生活で様々なバックグラウンドを持つ人々と知り合うことができ私の国際的な視野が広がりました。英語の読解力や文章力、リスニング能力、特にスピーキング能力は向上したと実感しています。また、英語力や授業で学んだことだけではなく、長期間の海外での生活することで、環境適応能力や問題解決能力を養うことができました。帰国後に行った就職活動では、留学経験を十分に生かし、外資系企業への就職が決まりました。今回の留学を通してかなり成長することができました。最後に今回の交換留学を支援してくださった国際交流部、国際交流センターの皆様へ心から感謝いたします。